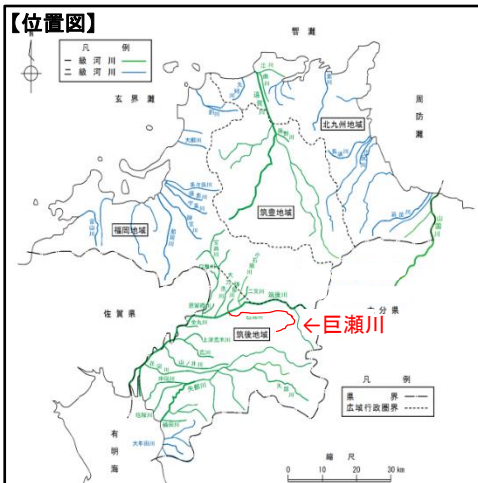


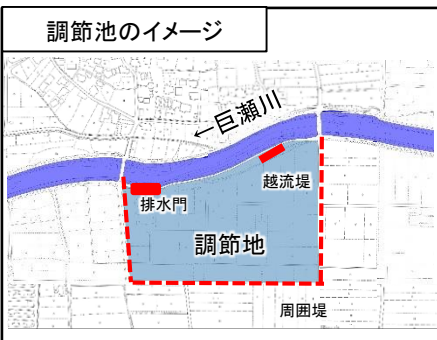
福岡県の巨瀬川では、令和5年7月の豪雨により、福岡県管理区間において床上浸水290戸、床下浸水812戸の甚大な浸水被害が発生した。このため、他事業（災害復旧助成事業）と連携して、**浸水対策重点地域緊急事業**により、**調節池を整備する**。併せて、**特定都市河川の指定に向けた検討・協議や立地適正化計画の制度等**を利用した、**災害リスクを踏まえた土地利用の取組等の流域対策を推進**することで、**早期に地域の安全性の向上を図る**。



【全体計画】  
 河川名：一級河川 筑後川水系巨瀬川  
 事業内容：調節池、用地補償等  
 全体事業費：5,200百万円（国費2,600百万円）  
 事業期間：R6～R10  
 施工地：久留米市、うきは市

【令和6年度当初】  
 事業内容：測量設計、用地補償  
 事業費：400百万円（国費200百万円）

※ 防災・安全交付金の使途については、国の意図を示すものであり、計画への配分後は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。

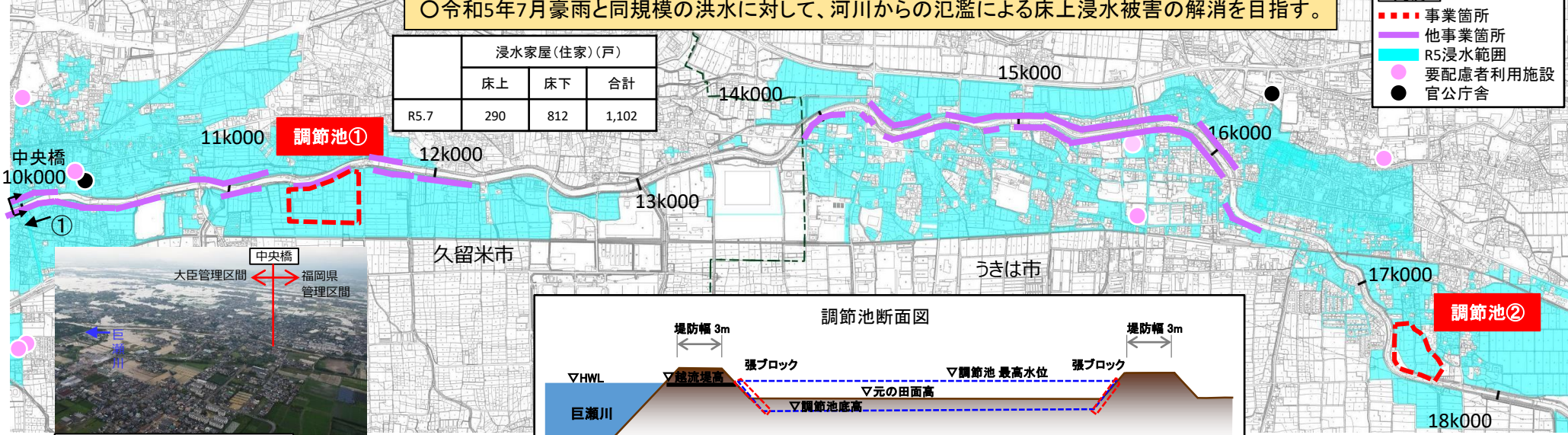


※各施設の位置や構造は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

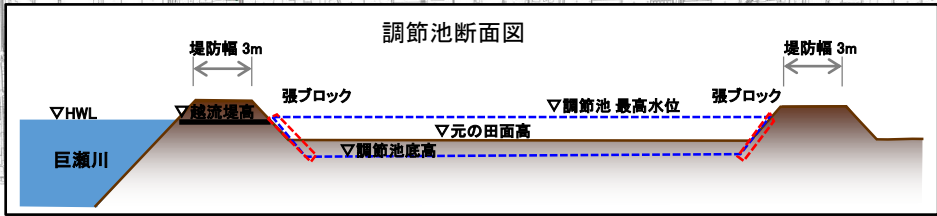
- 〈県等の独自事業〉
- 県・市単独事業**
- ・県：河道掘削（堆積土砂撤去）
  - ・市：巨瀬川支川市管理河川の改修
- ソフト対策**
- ・県：水位計、監視カメラの設置
  - ・市：立地適正化計画の制度等を利用した、災害リスクを踏まえた土地利用の取組
- 適切な維持管理**
- ・県：堤防及び護岸の個別施設計画に基づき計画的な維持・補修を実施

【事業効果】  
 ○令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の解消を目指す。

R5.7	浸水家屋(住家)(戸)		
	床上	床下	合計
R5.7	290	812	1,102



- 【凡例】
- 事業箇所
  - 他事業箇所
  - R5浸水範囲
  - 要配慮者利用施設
  - 官公庁舎



①令和5年7月豪雨被災時状況写真